

# 武石地域総合センター建設基本計画（案）

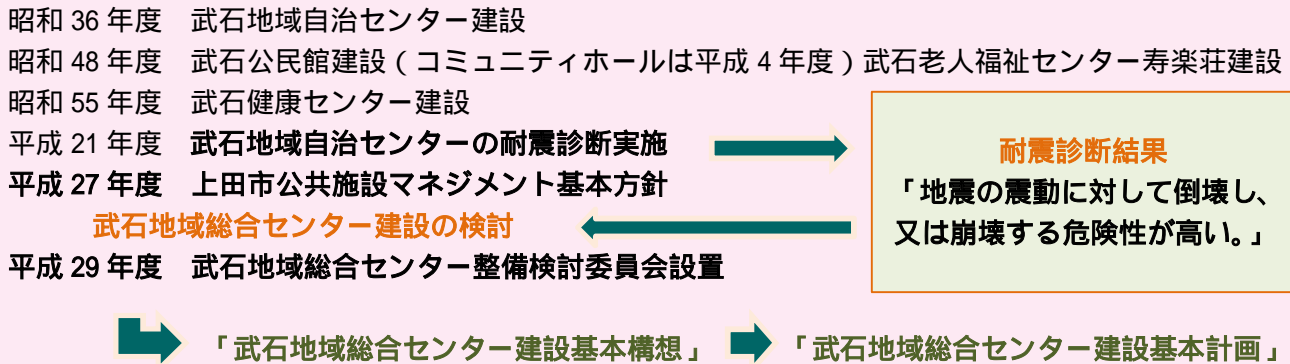
## 概要版

平成30年 月  
長野県上田市

# 武石地域総合センターの建設に向けて

～ 住民が集う、出会いと協働の場を目指して ～

## 1 これまでの経緯



## 2 基本構想の概要

### (1) 耐震化の方向

耐震化・大規模改修をしても耐用年数は伸びない  
個々に改修しても問題の解決にならない → 施設の改築

### (2) 集約する施設

耐震性のない  
新耐震基準を満たしていない可能性のある

- 武石地域自治センター
- 武石公民館(コミュニティホールを除く)
- 武石健康センター
- 武石老人福祉センター寿楽荘

## 3 基本方針

- 1 建設の位置 → 現在の公民館敷地とする
- 2 市民の利便性向上・機能の集約 適正な施設規模・限られた財源の範囲内で整備する
- 3 次の6つの視点に基づいた機能・設備を導入する
  - 市民が出会い、協働の場となる施設
  - 市民が利用しやすく市民サービスを向上させる施設
  - 安全・安心を守る防災の拠点となる施設
  - 環境と景観に配慮した施設
  - 機能性に優れ、変更柔軟に対応できる施設
  - ライフサイクルコストを縮減し、既存ストックを活用したコンパクトな施設

ライフサイクルコスト：建設コストだけでなく維持管理や廃棄のコストも含む生涯費用

## 4 武石地域総合センターの機能

### (1) 具体的機能

#### 総合支所機能

- 1 窓口機能の集約配置
- 2 プライバシーへの配慮
- 3 ゆとりある待合、多目的スペース
- 4 利用者にわかりやすく、安心・快適で利用しやすい設備や案内

#### 防災機能

- 1 耐震性の確保
- 2 地域災害対策拠点機能の整備
- 3 在庁者や避難者等の安全確保
- 4 バックアップ機能の整備
- 5 物資や資器材の備蓄機能の整備

#### 事務機能

- 1 執務空間の整備
- 2 機能的な収納
- 3 会議室等の整備

#### 複合施設機能

- 1 地域コミュニティ拠点機能の整備
  - ・「住みよい武石をつくる会」の活動拠点を整備
  - ・市民が自由に利用できる多目的スペースの整備
- 2 公民館機能の整備
- 3 図書室機能の充実
- 4 地域の総合支援機能の充実
- 5 高齢者の生きがいづくりに寄与する機能の充実

#### 付帯機能

- 1 市民利用スペース、設備の整備
- 2 誰もが快適な空調設備の整備
- 3 市民の利便性向上のための施設整備
- 4 視認性を考慮した配置
- 5 駐車場の整備、スペースの配置

### (2) 施設整備の考え方

#### ユニバーサルデザイン

- 1 わかりやすい配置
- 2 安心・快適に利用できる設備
- 3 わかりやすい案内の表示
- 4 明るく開放感のあるレイアウト

#### 環境負荷の低減と経済性・効率性

- 1 環境負荷の低減
- 2 ライフサイクルを考慮したエネルギーの有効活用
- 3 自然エネルギーの有効活用
- 4 省エネルギー化
- 5 施設の維持管理及び修繕のしやすい計画
- 6 既存施設の有効活用

#### 地域の特性と景観への配慮

- 1 地域の景観に適合する計画
- 2 上田市の特徴・資源の活用

## 5 建設の規模

**武石地域総合センターの延べ床面積は、およそ 2,300 m<sup>2</sup>~2,500 m<sup>2</sup>とします。**

共用面積の増減など不確定要素もあり、基本設計において確定します。

市民利用が多い機能を低層階に集約し、関連する機能を近接した位置に配置します。

## 6 駐車場の配置

武石地域総合センター敷地に十分な台数の駐車場を確保します。

車両の出入りや来庁者の利便性を考慮し、特に障がい者等の駐車区画は建物の出入り口に近い位置に設置します。

駐車場を地域のにぎわいの創出ができる広場としても活用します。

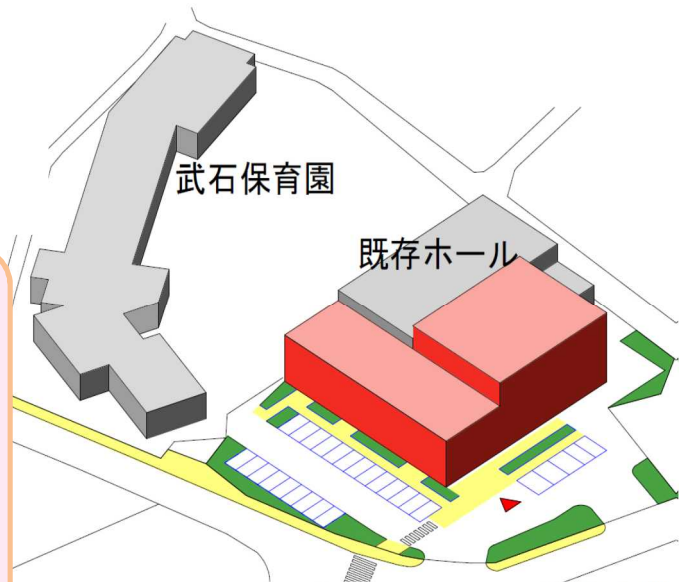
## 7 配置計画

- 検討した案
- A案：平屋建て
  - B案：平屋建て（一部2階建て）
  - C案：2階建て
  - D案：2階建て（一部3階建て）

### D案：2階建て（一部3階建て）を基本とする

#### A案～D案 4つの案の検討によるD案のメリット

- ・建物周囲で多くの駐車場が確保できる
- ・A案、B案、C案よりもコストがさらに抑えられる（延べ床面積2,500㎡以上の確保が可能）
- ・自然採光が確保しやすい
- ・敷地内に十分な緑地が確保できる
- ・武石保育園への日影の影響を減らすことができる



D案 建物規模・建物イメージ

## 8 業務継続計画

現在の武石公民館機能を周辺の市有施設などに仮移転

武石公民館（コミュニティホールを除く）を解体し、跡地へ武石地域総合センターを建設

武石地域総合センター完成

既存施設を解体

広場機能を備えた駐車場の整備と外部倉庫・公用車庫・外トイレの建設

工事期間中は、公民館の一時的移転による市民サービスへの影響は避けられませんが、移転先を近隣の市有施設等とすることにより、市民の利便性に配慮します。

## 9 事業スケジュール

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
事業名					
基本設計	→				
実施設計		→			
建設工事（一部解体含む）			→	→	
外構工事				→	
既存施設解体					→
駐車場造成工事・車庫等整備					→

## 10 事業費及び財源

武石地域総合センターの建設規模に基づき算定される事業費は、約 10 億円としています。コストの削減につながる構造や設備の採用に努め可能な限り全体事業費の削減に努めます。ただし、急激な建築資材や労務費の高騰、消費税の増額等については、別途、事業費の増額が必要となります。

財源は、合併特例債・公共施設等適正管理推進事業債（集約化複合事業）を予定しています。